



6/23～25 6月定例町議会

新型コロナウイルス感染防止対策として、議場の質問席と演壇に飛沫防止の亚克力板を設置し、扉を開放して開催しました。

びほろ町

ぎかい

6月定例会のあらまし

行政報告・委員会報告など	2 P
発議・討論	4 P
意見書など	5 P

こんなことを聞きました

一般質問	11人登壇	6 P
------	-------	-----

臨時会

4月臨時会・5月臨時会	17 P
-------------	------

政務活動費収支報告

議員別使途状況を公開	18 P
------------	------

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.237 令和2年8月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



6月定例会のあらまし

【23日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（藤原・戸澤・馬場・松浦）が一般質問に登壇。公営住宅管理や地域情報化、教育行政、産業支援などについて活発な議論が交わされました。

【24日】議員4名（木村・伊藤・坂田・大江）が一般質問に登壇。学校での熱中症対策、保育行政、教育行政、新型コロナへの対応などについて活発な議論が交わされました。

【25日】議員3名（稲垣・上杉・岡本）が一般質問に登壇。町長の政治姿勢、保育行政、防災対策などについて活発な議論が交わされました。その後、議案審議に入り、陳情1件、発議1件を審議、条例改正や補正予算など11件の議案を可決、4件の意見書案を審議し、例月出納検査など3件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続審議」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附について

・株式会社三和システムサービス美幌営業所様から、新型コロナウイルス感染予防及び経済対策に役立ててほしいと、100万円。

・美幌町農業協同組合様から、新型コロナウイルス感染予防対策に役立ててほしいと、マスク2万枚。

・田村栄治様から、ご逝去された母、故田村幸子様が生前町でお世話になったお礼として、町のために役立ててほしいと、100万円。

ご厚志をありがたくお受けし、それぞれのご趣旨に沿って活用します。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師確保について

・医療法人社団田中医院で副院長として勤務されている、前田亮（りょう）医師から、国保病院の常勤医師として勤務したい旨の意思表示がありました。採用は8月1日を予定しており、8月3日から診療を開始する予定です。前田医師の採用により、夜間の小児救急の対応が可能となるとともに、町内における入院診療も可能となります。

令和2年8月からは常勤医師7名体制により診療にあたりますが、今後も質の高い医療サービスの提供に努めるとともに、引き続き、外科医師の招聘など医師確保対策に取り組んでいきます。

※その他、職員の人事異動（4月1日付）について報告がありました。



総務文教厚生常任委員会審査結果報告

総務文教厚生常任委員会は、令和元年12月定例会で付託された、網走川河畔公園パークゴルフ場の整備にかかる陳情について、審査意見を付したうえで「不採択とすべき」との審査結果を報告しました。

その後の採択では陳情への賛成者が少数だったため、陳情は不採択とされました。

陳情内容

- ①網走川河畔公園パークゴルフ場いちい・つつじ・さくらコース駐車場へのアクセス道路の舗装化
- ②大正橋から網走川河畔公園パークゴルフ場への出入り口の拡幅

審査結果 不採択とすべき

理由

陳情のあった網走川河畔公園パークゴルフ場は、多くの愛好者に利用され、町民の健康保持に大きな役割を果たしている公共施設です。

当委員会として、陳情者及び所管部局から現状の聴き取りや、河川敷地の占用許可基準等について調査・検討した結果、アクセス道路の舗装化については、未だ未舗装や修繕補修が必要な生活道路と比較して整備の優先度が低いこと、また出入口の拡幅については、安全管理上必要性はあるものの、網走開発建設部との確認で、付近に河川管理に必要な光ケーブルが埋設されており、移設には多額の費用が予想されるとともに、民間所有地が隣接するため、不採択とすべきとした。

審査意見

網走川河畔公園については、夏季はパークゴルフやゲートボール、冬季はスケートリンク場として、多くの町民の健康増進に重要な公共施設である。

今後も利用者が快適・安全に利用できるよう、関係機関・団体と協議をしながら、適切な時期にアクセス道路の整地、転圧などの維持管理をするとともに、特に出入口付近の事故防止に重点をおいた、きめ細やかな安全対策を講じるべきである。

提案された主な議案

動 産 の 取 得

〈除雪トラック 1台〉4,873万円

工事請負契約の締結

〈美幌町防災行政無線デジタル化整備工事〉 2億3,540万円



補 正 予 算

6月定例会に提案された令和2年度補正予算は、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

- | | | |
|-------------|---------|-------------------------|
| ○未来の担い手支援事業 | 3,790万円 | (町外に在住し通学する学生等への支援) |
| ○防災対策事業 | 180万4千円 | (次亜塩素酸水生成器、LED殺菌灯の購入) |
| ○花きふれあい支援事業 | 339万9千円 | (花き生産農家を支援するための花き等の購入費) |

議員報酬削減に関する条例改正案を賛成多数で可決

6月定例会は25日、議員報酬を令和3年3月まで月額5%減額するとして議員発議による議案を賛成多数で可決しました。

発議は、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている町民と痛みを分かち合いたいと、賛同する10人の議員により提案。賛同者を代表して、馬場博美議員が提案理由を説明し、反対・賛成それぞれ討論が行われ、採決では起立多数で可決されました。

提案理由の説明(要旨)



馬場博美 議員

本年2月より全国的に広がった新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令され、特に北海道においては「特定警戒都道府県」と位置づけられた。

美幌町でも北海道の休業要請等により、飲食業・小売業をはじめとする様々な業種の事業者の売上に多大な影響を及ぼしており、感染防止策や経済対策に多額の資金を投入して対応しているが、今後も町民の生活や町内の経済への影響を勘案し、感染症対策の財源の一部として、本年7月から令和3年3月までの9ヶ月間、議員報酬の月額5%を減額することとしたい。

討論(要旨)

町議会議員はもはや名誉職ではない。議員に支給されるのは報酬だけで家族手当や住宅手当、退職金も一切ない。このことが町村議会議員のなり手不足の問題になっている。

今町民が真に願っていることは、「新型コロナウイルスで苦しむ町民の生活や業者の実態をよく調査してほしい」、「感染を徹底して防いでほしい」、「町民に対する適切な支援策を議会として練り上げてほしい」ということ。

今回の報酬削減が、全道のさらに厳しい町村議会の報酬引き下げにも影響を与え、さらに新型コロナウイルス感染防止に一生懸命取り組んでいる町職員の給与引き下げにも影響を与える可能性があることから、大変悲しいという思いをこめて反対する。

原案に反対



大江道男 議員

原案に賛成



木村利昭 議員

私たち議員として何ができるかを真剣に考えたとき、町のため町民のため全力で議員活動を行うことは当然であるとした上で、今後の議員活動への影響を考慮しつつ、報酬の一部を減額し、少しでも新型コロナウイルス感染症による対策費の一部として活用していただきたいという考えにたどり着いた。

今回のような特別災害時には、皆が協力して乗り越えるという思い、そして行動が大切であり、議会議員として行動を起こすことがとても大切だと考える。その行動の一つとして、今回の条例改正に賛成する。

原案に賛成



古舘繁夫 議員

今回の新型コロナウイルスの影響は、町内において計ることのできないほど深刻なものとなっている。

町としても、商工会議所及び金融機関と連携して、影響を少しでも減少させる政策を行っている。さらに、多くの民間企業の方々から心温まるご支援をいただき、感染防止対策、経済対策など新型コロナウイルスとの闘いをしている状況にある。

私たちは議会議員として、町民の代弁者として、町民の皆さんに寄り添い、励まし合い、この難局を乗り越えなければならない。その思いの一端として議員報酬を7月から明年3月までに9ヶ月間、月額5%の減額をするもの。

こんなことを決めました

4件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和2年6月定例会では、7件の意見書の提出を求める要請・陳情のうち、4件の意見書案を可決し、国等の関係機関へ提出しました。ここでは主な内容について、お知らせします。

① 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書（要旨）

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、計画的な間伐や伐採後の着実な植林を一層進めるため、地方債の特例措置を継続するなど、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- ① 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
 - ② 間伐、植林、種苗生産等を着実に進めるため、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」を延長し、同法に基づく森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること
 - ③ 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。
- 【提出先】内閣総理大臣 外

② 新たな基本計画における農村振興の強化を求める意見書

③ 2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

④ 地方財政の充実・強化を求める意見書

一般質問

には11人が登壇

質問者と質問項目

■藤原 公一 議員……………6頁

① 公営住宅管理について

② 複合災害への備えと避難所運営について

■戸澤 義典 議員……………7頁

① コロナ禍における今後の学校教育について

② 地域情報化の推進について

③ 宿泊施設誘致促進事業

■馬場 博美 議員……………8頁

① 教育行政について

② 美幌町のまちづくり

③ 新型コロナウイルス感染症

■松浦 和浩 議員……………9頁

① 新型コロナウイルス禍による産業支援について

② 新型コロナウイルス禍による福祉対策について

■木村 利昭 議員……………10頁

① アフターコロナに向けた新美幌スタイルについて

② 学校の熱中症対策について

■伊藤 伸司 議員……………11頁

① 保育園・保育所について

■坂田 美栄子 議員……………12頁

① 教育行政について

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

■大江 道男 議員……………13頁

① 新型コロナウイルスへの対応

② 美幌町の障がい者雇用

■稲垣 淳一 議員……………14頁

① 政治姿勢について

② コロナ禍対策について

■上杉 晃央 議員……………15頁

① 「森のようちえん」の幼児教育の推進について

② 街路樹の管理方針について

■岡本 美代子 議員……………16頁

① 防災対策について

② 新型コロナウイルス感染症

③ 美幌高校の間口削減

公営住宅 問 公営住宅の手すり設置の計画は

藤原

公一議員

答

入居状況や費用対効果を踏まえ検討する



問 高齢化が進む中、入居者の安全と、少しでも負担を軽くするため、4階建ての公営住宅（南・仲町・三橋南）に手すりを設置する計画は。

答 現状では、新規申込の高齢者については低層階やエレベーター完備棟を優先して選考するなどの配慮をしており、低層階への住み替えを希望される方には、申請により住み替えを

実施している。手すりの設置については、高齢者の入居状況や費用対効果を踏まえ、部分的な設置を含めて検討する。

問 公営住宅共有部の廊下や階段において、手動で電気を点灯している棟では消し忘れにより朝までつきっぱなしになっていたりで管理に苦慮していると聞いている。電気代の節約や防犯のため、人感センサー付きLED照明に取り替える計画は。

答 人感センサー付きLED照明については、電気代節約の

メリットがある一方で、設置の費用や方法について検討課題も多いため、来年度実施予定の公営住宅等長寿命化計画の見直しまでに研究したい。



～ 南公住 ～

避難所運営

今後の取組みは

問 今後さらに多くの避難所開設が必要

になった場合、新規開設の考えは。また、避難所において最低1m間隔を実施した場合、現状の避難所の収容人数は。

答 ひとり当たり占有面積が広くなると収容人数が減少することとなるため、開設する避難所を追加すべきものと認識しているが、災害対策基本法施行令で定める基準を満たす町有施設が無いこと、避難所開設職員も限られるため、新たな避難所の指定は困難な状況。現在、町指定の避難所は18カ所、収容人数は3千710名だが、感染症対策としてスペースを確保した場合2千527名となる見込み。

問 乳児用液体ミルク

は、常温保存ができ、お湯で溶かす必要がないため、災害時の備蓄に有効と思われる。美幌町での備蓄の考えは。また、現状で乳児のミルクはどのように備蓄されているか。

答 液体ミルクについては災害時に適したものとして認識している。については、液体ミルクを取り扱っている事業所との協定締結に向けて進めていきたい。災害時の備えとして、公助として備蓄すべきものについて整備を進めていくが、自助の観点から町民の皆様にも当面の食糧、飲料水、常備薬等の準備についてお願いしたい。

学校教育 問 臨時休校に伴う学習遅れの解消施策は

戸澤
義典議員

答 今まで以上に家庭の協力が不可欠となる



問 新型コロナウイルス感染症防止のため小中学校が臨時休校となり、2ヶ月強の学習機会が失われた。これにより夏休み短縮の対策がとられるが、失われた学習時間をどの程度回復できるのか。今後の施策の考え方は。

現時点で夏休み期間の10日間を授業日に充てることで、標準時間数を確保できる見通し。今の学校の最大の使命は、児童生徒の心身の健康バランスと生活リズムを整えながら学習の遅れを取り戻し定着させること。そのためには時間割や授業の進め方を工夫し、今まで以上に家庭の協力が不可欠となる。



問 学校では、今後感染防止対策と並行して学力低下や学習機会が喪失されない対策を講じていかなければならないと思うが、美幌町として、今後子ども達との学校教育をどうすべきと考えるか。

答 今、学校は本来の姿である教師と児童生徒が対面で行う授業を継続していく中で、学習の遅れを取り戻すことが最優先される。一方でいかなる状況でも学びを保障するため、休校中における家庭での学習の充実を図ることが必要と考える。

地域情報化の推進

今後の対応は

問 総務省の「2020年に向け全国約3万箇所のWi-Fi整備を目指して」という方針による、美幌町における公衆無線LAN整備の状況は。

答 町の施設でWi-Fi環境が整備されている施設は、14箇所、指定避難所では18箇所中、今年度整備予定を含め8箇所となっている。Wi-Fi未整備の避難所については、通信環境を調査のうえ、今後計画的に整備していきたい。

問 町長の公約で「農業地区の情報基盤の整備を国に要請する」とあるが、現状と今後についての考えは。

答 現状については、国の補助を受けて実施することが望ましいと考え、オホーツク圏活性化期成会において国に要望してきたところ。今後も国の支援について注視のうえ、早期の事業着手に向けて取り進めたい。

宿泊施設誘致

確保の考えは

問 美幌グランドホテルの廃業により、今後の宿泊施設確保の考え方は。

答 当面、宿泊についてはグリーンビレッジを始め他の町内施設を利用いただき、宴会や大規模な会議等については町民会館の利用や農協会館で受け入れていただくしかない。今後関係団体と協議しながら進めていく。

教育行政 問 少子化時代を見据えた小・中学校のあり方は

馬場

博美議員

答

現状の学校数を維持した形を考えている



問 少子高齢化に伴

い児童生徒数の減少が避けられない中、今後の小中学校のあり方についてどう考えているか。

答 学校規模の適正化は、教育的観点のみならず、地域の様々な事情も考慮し検討しなければならない困難な課題であり、現時点では学校規模による具体的な統廃合の検討までには至らず、小規模校のメ

まちづくり

まちづくりミーティング

問 ①地域サポーター

制度のこれまでの取り組み及び、見直した理由は。

②具体的な内容をどう考えているのか。

③要望又は苦情を目的としたものは除く

となっているが町長の考え方は。また、開催日について土・日曜日も含めるべきと思うが。

④積極的に地域に出

リットである個の指導の充実を進め、現状の小中学校数を維持した形態を考えている。

向き、町民との意見交換をすべきと考え

答 ①地域サポーター

制度の活用事例がほとんどなかったため、意見交換の場を設定できる制度として見直しを図った。

②一例として、循環バスの利用促進をテーマに実施することなどを想定している。

③要望等はその都度、所管部署もしくは町民相談コーナーで受付している。土日の開催について相談があった場合は柔軟に対応する。

④町民との意見交換の場合は、まちづくり

ミーティングが目指しているところ。町民、行政の双方から申し込みができ、問題協議、意見交換はその後のまちづくりに活かしたい。



新型コロナウイルス

対策状況は

問 ①新型コロナウイルス

イルス対策に係る補助金、支援金の実施状況は。

②緊急対策利子等補給補助金について、期間と限度額の見直しをすべきと考えるが。

③長期化することが予想されるが、今後の対策は。

答 ①緊急対策利子

等補給事業補助金は6月8日現在14件の申し込みで1億4千130万円の融資実行、プレミアム商品券発行事業は1万5千セットを完売、営業継続支援金は124店舗に支給、経営継続支援金は6月8日現在62件に支給している。

②緊急融資対応としての役割があり、国・道の制度よりも有利になる場合もあるため、見直しは行わず継続したい。

③今後も国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら様々な対策を実施したい。

産業支援 問 美幌町の発注等について町内業者への配慮は

松浦
和浩議員

答 これまで同様、実施可能なものは町内業者へ



問 美幌町の工事発注、業務委託、修繕や物品購入等について、町内に本店を構える事務所・店舗に最大限の配慮をすることも新型コロナウイルス対策として有効と思うが、町長の考えは。

内業者への見積依頼に際しては、町に届出がある町内業者で実施可能なものは町内業者を基本とし、特に本店有無の区別はしていない。新型コロナウイルスによる産業界への影響は認識しているが、公共調達についてはこれまで同様に対応していきたい。

問 失業者対策として、役場や公共施設での雇用や冬期間の雇用対策についての考え方は。

答 ハローワーク美幌との情報交換の中では、有効求人倍率は新型コロナウイルスの影響により急激な悪化の状況にはないと聞いており、現時点で役場業務での雇い入れは考えていないが、今後も冬期就労対策とあわせて事業者の継続支援の取り組みを検討したい。

問 新型コロナウイルス禍の影響で中止となったイベント・行事の予算について、全額を来春までの雇用対策に組み替えることが妥当と思うが、町長の考えは。

答 各種イベント等の経費、施設の管理経費について、今後精査のうえ予算の組み替えを検討するとともに、国からの臨時交付金を活用し、経済と生活を支えるための対策を進めたい。

新型コロナウイルス禍

福祉対策について

問 障がい福祉計画にある就労支援について、新型コロナウイルスにより就労や賃金に影響は生じていないのか、来春までの支援体制は万全なのか。

答 町内事業所における就労支援の工賃はあまり大きくないため、親族と同居している方が多く、国からの特別定額給付金などで大きな影響は受けていないとのこと。支援体制としては、地域包括支援センターが情報提供

や相談等の窓口となり、助言や指導をしている。

問 ひとり暮らしの高齢者の生活実態の把握は万全なのか、心のケアは十分なのか。

答 75歳以上の独居高齢者のうち町や介護保険のサービスを受けていない462名の心身状況について情報提供いただけたよう、民生委員の方々に協力をお願いしたところ。まずは安否確認を優先してお願いしている。



アフターコロナ 問 ワークションを推奨する考えは

木村
利昭議員

答 今後関係機関と協議しながら検討していく



問 テレワークを取り入れ、地方で余暇を過ごす「ワークション」に取り組む自治体が増えてきている。空港からのアクセスが良く、立地も抜群な美幌町で、ワークションを推奨し、移住定住などに繋げるべきと考えるが、町長の考え方は。

答 ワークションについては、働き方改革の一環として近年注目されており、

本町で推進するには、町と関係の深い企業や興味を示していた企業と連携し、継続的な繋がりを持つて実施すべきと考えており、今後スピード感をもって検討していきたい。

問 都心部からの移住を考える人向けに「介護職希望者に特化した移住体験ツアー」を官民連携で実施するなどして、町の課題である介護分野をサポートすべきと考えるが、町長の考え方は。

答 首都圏に居住する北海道への移住を真剣に考えている現

役世代に対し、介護福祉施設等での就業体験、美幌町内の生活環境を視察することで体験移住と移住後の「しごと」「住まい」「暮らし」のマッチングをすることが重要であり、今後調査・研究していきたい。

問 雇用促進に関する取り組みについて、昨年6月の定例会において、一般質問したが、その後の進捗状況は。また、町と民間が一体となった雇用促進の取り組みが必要と考えるが、町長の考え方は。

答 昨年の定例会で

の質問を受け、商工会議所との連携のもと、東京都で開催のUIターン相談会において企業紹介とともに、移住・定住パンフレットの配布や町のPRを行っていただいたところ。町にとつても企業にとつても人材の確保は非常に重要なことから、引き続き官民一体となつて行う雇用促進対策や企業説明会の実施について検討していきたい。

熱中症対策

小中学校での対策は

問 小中学校において、しばらくはマスク着用での登校となると思うが、エアコン設備の増設など熱中症対策の考えは。

答 現在、保健室の



エアコン設置や教室内に扇風機を設置するなどの対策を講じているところだが、教室へのエアコン設置費用は一教室で百万円を超えるなど財政負担と効能状況を総合的に判断し、現時点では設置の考えはない。特に高温多湿時は時間割の工夫、北側に位置する特別教室の利用など、学校運営の中で様々な対策を講じ、熱中症リスクの回避に取り組んでいく。

感染症対策 問 保育園・保育所の新型コロナウイルス対策は

伊藤
伸司 議員

答

「新北海道スタイル安心宣言」 美幌町役場版
に準じて取り組んでいる



問 ①現在、保育園・

保育所では、新型コロナウイルス感染症対策としてどのような取り組みをしているか。

答 町立保育園及び保育所においては、緊急事態宣言期間中、家庭内保育が可能な場合は登園自粛をお願いし、保育を必要としているお子様の

保育を行ってきたところ。

①「新北海道スタイル安心宣言」美幌町役場版に準じて、検温などの健康チェック、手洗い・うがいの励行、定期的な換気、共有部分等の消毒などに取り組んでいる。

②町立保育園及び保育所においては、給湯設備がないことから、水道水での手洗いを余儀なくされている。現在、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した給湯設備の整備について検討して

いる。エアコンの設置については、十分な換気を行わない環境下ではエアコンによる新型コロナウイルスの拡散リスクが指摘されており、全ての保育室への設置は考えていないが、体温調整などが難しい低年齢児の保育室への設置を検討する。



問 現在、開所しているへき地保育所は上美幌保育所のみだが、「施設の老朽化」「給食がない」という理由で他の保育園に通園している世帯が多くなっていると聞いている。今後、上美幌保育所の施設整備と給食導入の考え方は。



答 へき地保育所は現在、上美幌保育所1カ所のみ運営だが、現4歳児が卒園する2年後には利用人数が一桁になることが見込まれること

から、施設規模の最適化を図る上からも、大規模な改修は難しい状況。給食の導入については、上美幌保育所施設内における「自園調理」や、「給食センターを活用した給食」の提供などを検討した経緯があるが、「自園調理」では厨房施設の衛生面などの課題があること、また「給食センターを活用した給食」においては、小中学生の給食を提供するため園児にとつては食材が大きすぎることに、さらに、小中学校の給食時間に合わせた調理完成時間では保育所の給食時間と合わないことなどの課題があることから、給食導入については難しい状況。

教育行政 問 手厚い学力保障の仕組みづくりについて

坂田
美栄子 議員

答 今まで以上に組織的な体制づくりが重要



問 町内の小中学校も6月1日から再開されたが、再開後の学校と教職員を支えるため、安全で豊かな学びを維持するための手厚い学力保障の仕組みづくりが必要と思うが考え方は。

答 今、学校が最優先に取り組まなければならぬ課題は、児童生徒の心身の健康バランスと生活リズムを整え、学習の遅れを取り戻すこと。

今まで以上に職員間の情報共有による組織的な体制づくりが学力保障の大きな仕組みづくりであると考えている。今後子ども達を誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保証する手厚い取り組みを行っていく。



問 日本は欧米に比べ、教育環境に困難

を抱えた家庭の子ども達への支援が十分であると思うが、そうした子ども達が学校の中で安心して生活できるよう、心のケアと居場所づくりが大切と考えるが、考え方は。

答 学校再開後の児童生徒は、長期にわたり学校生活から離れていることや、教育環境・友人関係の変化はもとより、家庭環境の変化等を背景とした様々な不安やストレスを抱えている。今後も誰一人として居場所を見失うことのないよう、全教職員による目配

り・気配りを徹底するほか、心の居場所となる保健室登校の対応といった、心に寄り添う体制づくりにも尽力する。

問 新型コロナウイルス感染症により休校が長期化し、子ども達が自宅でも学べるオンライン学習が注目され、対応を検討する自治体も増えてきている。第2波に備えた対策が必要であり、オンライン学習の環境整備もその一つと考えるが、今後の対応策は。

答 国では学びの保障としてICTの積極的な活用を推奨しており、家庭学習を支援するための教材を作成し「子供の学び応援サイト」などに公開しながら学習補完に取り組んでい

る。本町でも第3波に備え「学びを止めない、心をつなぐ」取組を基盤とするとともに、児童生徒や保護者に対しては、学習に対する安心感を与えることが必要なことから、オンライン学習は時代の潮流になりつつあることを実感している。今後、早い時期にICTを活用した学習に取り組めるよう、「校内インフラ」や「一人一台端末」の整備に向けて準備を進めたい。



コロナ対策 問 家賃などの固定費支援の上乗せの考えは

大江
道男議員

答 家賃支援給付金の上乗せ支援は考えていない



問 国の支援策に加えて、町上乗せとして緊急の「家賃等満額補助制度」を実施してはどうか。

答 本町の現状では、国の家賃支援給付金制度を活用する場合、大半が給付率3分の2に該当すると想定されることや、町としてこれまで様々な事業者支援を実施してきたことから、家賃支援給付金の上乗せ支援は考えていない。

い。

問 国民健康保険加入者の平等を図るため、被用者に加えて農業者などを加えた個人事業者にも傷病手当金の対象を拡大してはどうか。

答 農業者や漁業者、自営業者など、他者から労務管理を受けない人の勤務体系は把握することが困難であること、自営業者などには資金繰りなどで傷病手当金とは別の支援があることなどから、対象の拡大は難しいと考えている。

問 美幌町の国保病院にPCR検査体制

を構築すべきと考えるがどうか。

答 PCR検査は、ウイルスの遺伝子を増幅して検出する方法であるため、専用の検査機器と検査に習熟した人材を必要とすることから、実施可能な機関が限定され、国保病院での実施は困難。



国保病院

問 日本教育学会提言等で、教員の増と20人学級の必要性が叫ばれているが、美幌町も少人数学級の実現を目指すべきと思うが見解は。

答 6月1日現在、本町全校の学級在籍数の平均は小学校が二四・四人、中学校が三〇・五人であり、中学校では3クラスが35人を超える学級となっている。小学校は少人数学級制度を適用し、20人以下で編成するクラスも存在しており、来年度以降は各小学校で20人以下の学級が出現する状況。北海道において少人数学級の拡大や教職員定数の改善を国に要望していることから、まずは国の責任において全学年で35人学級

の実現を求めている。

障がい者雇用

確保状況は

問 美幌町の障がい者雇用状況は2年連続で法定雇用率を達成できておらず、北海道労働局から適正実施勧告を受ける状況となっているが、どのように受け止めているのか。

答 この2年間ににおいては平成30年度に1名の障がい者を採用しているが、法定雇用率には届いていない状況。今後はソフト・ハード面双方における準備をさらに進め、障がいのある職員を含めすべての職員が働きやすい職場づくりをしつかり取り組んでいきたい。

政治姿勢 問 政策目標の達成状況は

稲垣

淳一 議員

答

概ね計画どおりに進んでいると考える



問 人口減、高齢化等の社会問題には残念ながら歯止めがからず、厳しい行財政運営が強いられるところだが、町長としてどのような1年だったのか。自己評価を含め政策目標の達成状況と今後の行財政運営の見通しは。

答 昨年5月に町長に就任し、この間、本町が抱えている様々な課題の解決等に取

り組んできた。就任後に作成した「町長の重点政策」を柱に取り進めてきたが、達成する手段として44の施策を掲げているうち新規14施策を含む28施策について取り組みが進んでおり、概ね計画どおりであると考えている。今後は未実施の施策についてスピード感を持って検討を進めていきたい。今後の行財政運営の見通しについては、さらに厳しい財政状況が予想されるが、現行の第二次美幌町財政運営計画に沿った運営を実行することによ

り、未来に責任をもった健全な財政運営を維持できると考えている。



コロナ禍対策

経済対策について

問 国・道・町において矢継ぎ早に各種経済対策、生活弱者への支援が講じられているところだが、これらの事業に対し

て現在までの手応えはどのような感触を持っているのか。また、企業等の事業継続を考えたときの施策として、公共料金、各種税金の猶予・免除の考えはないか。観光事業に関しては、各種イベントの再開に向け、どのような方策が考えられるか。

答 「営業継続支援金」については、支援金の対象となる全店舗・施設から申請がされたところ。

「プレミアム商品券発行事業」については1万5千セットを完売している。なお、6月8日現在、商品券発行額のうち、半数近くの換金があったことから、経済効果は大きいものと考えている。今後についても、国からの新

型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら様々な対策を実施していきたい。公共料金、各種税金の猶予・免除等については、水道下水道料金については相談があった場合に猶予の措置をとっており、町税については、地方税法の改正に伴い、徴収猶予等の措置を講じることとしている。各種イベントの再開については、国の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針や北海道の基本方針を踏まえ、三つの密が発生しない席の配置や人との距離の確保、感染防止策をしっかりと講じ実施していただくしかないと考えている。

幼児教育 問「森のようちえん」についての認識は

上杉
晃央議員

答 自然体験を取り入れた保育は重要と考える



問 デンマーク発祥の自然体験や自然保育を重視した「森のようちえん」の考え方については、幼児期に自然と触れ合うことが心身の発達にとっても良い影響を与えるとして、全国はもとより、道内でも札幌市や恵庭市など各地ですでに実施されている。木育や森林保全を重視する町長として、「森のようちえん」の全国的

な情勢をどのように認識しているか。

答 子どもたちの自然体験の減少が問題視される中、幼児期の自然体験活動への関心が高まっており、「森のようちえん」などの自然体験を重視する保育が注目されていることは認識している。本町でも自然環境の中での保育として、みどりの村や町内の公園などへ出向く「園外保育」や「木育」の推進を図っている。今後も様々な自然体験を取り入れた保育に努めていきたい。

問 公共施設等総合管理計画では、美幌・東陽保育園は近い将来合築し0歳児保育を含めて運営していくことを検討する考えが示されている。

答 今後の幼児教育の具体的な検討をするにあたり、「森のようちえん」理念を取り入れ、町内はもとより、美幌に移住して子育てしたいとする魅力ある子育て支援のまち美幌を目指し、先進事例など調査研究する考えは。美幌・東陽保育園はそれぞれ施設の老朽化が進んでおり、今後両園を統合する

方向で検討し、建設場所の検討も進めていきたいと考えている。また、統合後の保育園運営については、今後も様々な自然体験を取り入れた保育に努めるとともに、「森のようちえん」などの研究や先進事例の調査を行い、魅力ある保育園運営に努めていきたい。

街路樹管理

剪定管理方法について

問 市街地内の街路樹について、樹木の特性を考慮せずに強い剪定が実施され、樹形が乱れて美観が大きく損なわれる現状は、景観向上や緑化形成といった街路樹の果たす役割が適正に機能していないと考えるが、今後の対応は。

答 過去に施された強い剪定の反省から、剪定作業を直接行う維持担当及び作業員に対し、平成27年度から専門家による指導を受けながら実施している。今後も継続して専門家の指導を受けながら、道路を往来する住民の安全確保を基本に、環境美化・景観形成に配慮した街路樹が維持されるよう、地域の理解をいただきながら取り組んでいきたい。



防災対策 避難所の感染症対策の今後の見通しは

岡本
美代子 議員

答 今まで以上に感染症に注意した運営が必要



問 ①感染症対策において1人に割り当てられるスペースは2㎡弱とのことだが、美幌中学校を例に、何人が利用できるのか。

②分散避難の際、住民がどこに避難するのかなどを今後調査する予定があるか。

③災害時持ち出し袋の外にタオルなど各自が持参するものについて啓発が必要と考えるかどうか。

答 ①美幌中学校の避難所収容人数は360名と想定しており、感染症対策をとった場合は256名となる。

②住民の避難先の調査については、発生した災害の種類、規模により変動すると思われるため、各避難所のキャパシティを把握し体制を整備することを優先して進めたい。

③避難生活の長期化等最悪の場合を想定し、住民の皆様にも当面の避難生活に対応できるよう準備い

ただきたいと思っており、精査したうえで広報等でお知らせしたい。

④トイレについては、疾病により行動が困難になることが推測されるため、分離したゾーンで使用可能なポータブルトイレの整備を検討したい。

問 住民生活について 新型コロナウイルス感染症拡大以降、都市部においては生活保護の申請が3割増加したとのことだが、町内の申請状況は。

答 1月から4月ま

での期間、昨年の5件に対して本年は6件で1件増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものではない。

問 町民が全員住む場所を持っているのか、行き場のない人はいないのか調査が必要と考えるが。

答 町内には冬の寒さを防いで24時間寝泊まりできる場所や、低料金で宿泊できる場所がないため、住む場所を持たない住民はいないと考えている。

美幌高校

間口削減案について

問 北海道教育委員会が公表した公立高校配置計画案で二〇二三年度から美幌高校の1学級減の計画が示されたが、町



～ 美幌高校 ～

として今後どのように対応していくのか。

答 平成30年度にオール美幌体制で組織した美幌高等学校教育振興対策協議会とともに、あらゆる機会を捉えて要請活動を行い、間口削減阻止に向けた取り組みを進めていく。今後とも美幌高校と連携した生徒募集活動を充実させ、一人でも多くの入学者を確保するため尽力していく。

4月臨時会

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う「特別定額給付金」19億1,500万円の補正予算などを可決

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附等について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策のためにと、

- ・株式会社宮田建設様より300万円
- ・株式会社ダイイチ様より300万円

新型コロナウイルス感染予防のためにと、

- ・株式会社道央環境センター美幌支店様よりアルコール除菌剤18リットル4缶。
- ・フジケンビルサービス株式会社様より速乾性手指消毒剤1リットルボトル48本、手指消毒液350ミリリットル60本、マスク8,000枚。
- ・ダイイチグループ様よりマスク20,000枚。

ご厚志をありがたくお受けし、それぞれのご趣旨に沿って活用します。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

- ・町民の皆様の不安を少しでも緩和すべく、感染防止策の効果的な方法などについてホームページや広報紙などで周知するとともに、町内の全戸に対して3回にわたり町長からのメッセージを付したチラシを配布しました。
- ・国民健康保険病院においては「発熱外来」を開設し、感染拡大防止、医療事業者の安全確保のため、専用の診察室を設けて対応をしています。
- ・緊急事態宣言を受け、一部を除く公共施設の閉鎖、小中学校の再度の臨時休校、イベントの中止などを行っています。ご理解、ご協力をお願いします。

5月臨時会

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う「経営継続支援金」「小規模事業者持続化補助金」「子育て世代への臨時特別給付金」などの補正予算、町長・副町長・教育長の給与減額にかかる条例改正などを可決

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策のためにと、

- ・美幌建設業協会様より200万円。
- ・美幌管工事業協同組合様より100万円。
- ・株式会社三共後藤建設様より500万円。
- ・株式会社道和建设様より100万円。
- ・株式会社オホーツク設備様より200万円。
- ・池田煖房工業株式会社美幌営業所様より200万円。
- ・芙蓉建設株式会社様より500万円。
- ・網走信用金庫様より100万円。
- ・株式会社電建様より300万円。

ご厚志をありがたくお受けし、それぞれのご趣旨に沿って活用します。

～ 全議員の政務活動費収支状況をお知らせします ～

政務活動に要する経費（使途基準）

項 目	内 容
調 査 研 究 費	調査委託費、交通費、宿泊費等
研 修 費	会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等
要 請 陳 情 等 活 動 費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
会 議 費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
資 料 作 成 費	印刷製本費、原稿料等
資 料 購 入 費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広 聴 広 報 費	広報紙等印刷費、送料、交通費等
事 務 所 費	事務所の賃借料、管理運営費等
事 務 費	消耗品費、備品購入費、通信費等

美幌町では、議員一人当たり月額2万円の政務活動費が交付されています。議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するもので、使途は研修会参加費や書籍購入費などさまざまです。

各議員から令和元年度政務活動費収支報告がありましたので、お知らせします。

令和元年度 政務活動費収支報告

令和元年度 政務活動費 使途別集計表

（単位：円）

交付番号	第1号	第2号	第3号	第4号	第5号	第6号	第7号	第8号	第9号	第10号	第11号	第12号	第13号	第14号	合 計	構成比
区 分	戸澤義典	稲垣淳一	大江道男	高橋秀明	木村利昭	伊藤伸司	馬場博美	古館繁夫	藤原公一	坂田美栄子	岡本美代子	上杉晃央	松浦和浩	大原 昇		
1 調査研究費					160,312	56,440	56,390						18,915		292,057	10.6%
2 研 修 費	123,070	76,420		216,378				76,420	195,520	89,670	26,198	96,220			899,896	32.6%
3 要 請 陳 情 等 活 動 費															0	0.0%
4 会 議 費			782												782	0.0%
5 資 料 作 成 費															0	0.0%
6 資 料 購 入 費	83,824	75,423	78,811	16,376	14,300	43,860	46,130	81,495	82,664	110,233	95,029	14,792	51,073	33,818	827,828	29.9%
7 広 聴 広 報 費	13,440	27,698	73,818		58,036	58,036	58,036	142,137				97,282			528,483	19.1%
8 事 務 所 費													42,053		42,053	1.5%
9 事 務 費		2,996	8,817			20,894	25,831			27,500	26,998	34,846	26,987		174,869	6.3%
収支報告分 合 計	220,334	182,537	162,228	232,754	232,648	179,230	186,387	300,052	278,184	227,403	148,225	243,140	139,028	33,818	2,765,968	100.0%
返 還 金	0	37,463	57,772	0	0	40,770	33,613	0	0	0	71,775	0	80,972	186,182	508,547	
交付決定額(A)	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	3,080,000	
交付確定額(B)	220,000	182,537	162,228	220,000	220,000	179,230	186,387	220,000	220,000	220,000	148,225	220,000	139,028	33,818	2,571,453	
執行率(B÷A)	100.0%	83.0%	73.7%	100.0%	100.0%	81.5%	84.7%	100.0%	100.0%	100.0%	67.4%	100.0%	63.2%	15.4%	83.5%	

委員 長 上杉 晃央
副委員 長 高橋 秀明
委員 岡本美代子
委員 稲垣 淳一
委員 木村 利昭

議会運営委員会

▼新型コロナウイルスの影響により、街に活気が戻るまでしばらくかかりそうです。私は飲食店を少しでも応援したいという思いで、プレミアム商品券が利用できるテイクアウト可能な飲食店をすべて利用し、個人的に情報発信を行う「飲食店応援プロジェクト」を実施しました。多くの方から反響をいただき、少しは応援することができたかなと感じています。
(利昭)

あとがき

▼本年5月で議員2年生を迎えました。と同時に任期は残り3年を切りました。4年というのはあつという間です。次の選挙では、働き世代から立候補者が増えてくれることを目指し、若手議員の担い手養成に、より一層力を入れていかなければならないと感じています。